

2022年  
12月号  
vol.9

# 圧入 ジャーナル

## Lineup

### ▶活動報告

- 初の「登録圧入工基幹技能者」が誕生しました
- 中国支部が技術講習会・現場見学会を開催

### ▶会員企業様紹介

- 吉田重機建設株式会社
- 有限会社タケハラ工業
- 株式会社マルカ

### ▶連載

- 栄えある第7回表彰をご紹介
- 現場部門賞

▶業界ニュース ▶Information



登録圧入工基幹技能者講習(東京会場)

## 初の「登録圧入工基幹技能者」が誕生しました

当協会は本年度、「登録圧入工基幹技能者講習」の実施機関として国土交通大臣の登録（登録番号40）を受けました。これを受け、当協会の技能委員会（委員長 森 致光）が開講準備を進め、9月10日、11日に第1回登録圧入工基幹技能者講習を東京会場と大阪会場で同時開催しました。本年度は計176名が講習を修了し「登録圧入工基幹技能者」となりました。

受講者の皆様にいただいたアンケート等も参

考に、よりよい登録圧入工基幹技能者講習を行ってまいります。

※登録基幹技能者は、熟達した作業能力、豊富な知識、現場を効率的にまとめるマネジメント能力を備え、専門工事業団体の資格認定を受けた技能者です。登録基幹技能者の確保・育成に努める優良な専門工事業者では、受注機会の拡大、さらには担い手の確保・育成に大きく寄与することが期待されています。



### 登録圧入工基幹技能者講習修了証



修了証番号 第402200-00000号

氏名 圧入 太郎

生年月日 1900年00月00日

実務経験を有する建設業の種類

とび・土工・コンクリート工事業

この者は、建設業法施行規則第18条の3第2項第2号の登録基幹技能者講習を修了した者であることを証します。  
この者は、(建設業の種類)について、建設業法第26条第1項の主任技術者の要件を満たす者であると認められます。

修了年月日 2022年10月11日

有効期限 2027年10月10日

一般社団法人 全国圧入協会  
(登録番号 第40番)

## 建設業法に基づく許可業種区分の見直しに関する要望を提出しました

当協会（森永教夫会長）は、日本基礎建設協会（脇雅史会長）、全国基礎工事業団体連合会（梅田巖会長）、コンクリートパイル・ポール協会（黒瀬晃会長）とともに、8月24日、「建設業法に基づく許可業種区分の見直しに関する要望」を国土交通省の長橋和久不動産・建設経済局長に

提出しました。この要望は、許可業種「とび・土工工事業」から「基礎ぐい工事業」を分離・独立させるとともに、建設工事の種類においても「とび・土工・コンクリート工事」から「基礎ぐい工事」を分離・独立させ、新たな種類として定めることを求めるものです。



## 中国支部が技術講習会・現場見学会を開催

11月24日(木)に国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所発注の「神戸川軟弱地盤対策工事」にて、ハット形鋼矢板圧入工法の「技術講習会・現場見学会」鳥根会場を開催しました。当協会中国支部の支部活動の一つとして実施され、参加人数は42名（発注者4名、建設コンサルタント12名、建設会社5名、その他21名）にのほりました。

当該現場は、斐伊川放水路事業（平成25年完成）により発生した神戸川周辺の地盤沈下の抑制を目的とし、堤防法尻部にハット形鋼矢板を施工するものです。1台の機械で単独圧入、ジェット併用圧入、オーガ併用圧入を選択できる「複合式圧入機」を用いた圧入施工が行われています。

また、当該現場で施工するハット形鋼矢板は長さ45.0mと長尺であるため、鋼矢板の鉛直性を確保しながらの施工が大変重要となります。そのため、鋼矢板の鉛直精度や傾斜角度をリアルタイムで計測できる「インプラント NAVI」（NETIS登録番号：SK-190009-VE）にて、鋼矢板の鉛直確認を行いながら圧入施工を行っています。

前半の技術講習会では、出雲河川事務所より事業全体の概要、(株)中筋組より当該現場の概要、日本製鉄(株)より使用材料（ハット形鋼矢板）、当協会より圧入工法についての講習を行いました

た（写真左）。

後半の現場見学会では、関連工事全9工区のうち、5工区の現場を各自自由に見学しました。各工区で説明員を配置するなど元請会社の積極的な協力もあり、参加者は施工中の圧入機のすぐそばまで近づいて施工状況を確認することができました（写真右）。参加者からは「今後の業務の参考になった」、「実際に施工している方と話ができて良かった」などの感想がよせられており、今回の技術講習会・現場見学会が今後の圧入工法のさらなる普及に繋がることを確信しています。

### 現場概要

発注者：国土交通省  
中国地方整備局 出雲河川事務所

#### ■神戸川西園地区軟弱地盤対策工事

元請者：今岡工業(株)、(株)豊洋、(株)トガノ建設、カナツ技建工業(株)、(株)中筋組、(株)フクダ、大福工業(株)

圧入者：(株)出雲技研、(株)ウエヤマ、(株)山陰基礎

#### ■神戸川大島地区軟弱地盤対策工事

元請者：出雲土建(株)、(株)中筋組

圧入者：(株)出雲技研、(株)山陰基礎



技術講習会



現場見学会

## Member introduction

## 会員紹介



### 吉田重機建設株式会社 (大阪府八尾市)

#### ■キャッチフレーズ

人に地球に思いやり

#### ■創業または設立年月、代表者

1964年10月創業、1990年7月設立、代表取締役 吉田 賢三

#### ■最近のトピック

もうすぐ60周年を迎えようとしています。さらなる飛躍に向けて若手人材の育成にも取り組んでいます。

今年も2名入社し、安全はもちろん技術向上に日々努力しています。

#### ■自社のPR

『考える吉田』として、顧客（発注者、施主、元請、コンサル）からの要望に答えるよう日々工法の設計変更、提案、工程、品質の向上等様々な面に対応できる会社です。

さらなる向上心を持って、次世代に残せる企業として努力してまいります。

(執筆者：野田 学)



野田 学 営業部次長



機械は常にピカピカです



### 有限会社タケハラ工業 (広島県広島市)

#### ■キャッチフレーズ

技術をもって業界に生き 社員の家庭を守ることを社訓とし、職場環境をよくすることにより従業員が現場に集中できるよう常に従業員ファーストを心掛けています。

#### ■創業または設立年月、代表者

昭和49年6月18日設立、代表取締役 竹原 政則

#### ■最近のトピック

広島は6本の川が流れる三角州上に市街地が形成されており、橋の数がとても多いです。最近では橋の老朽化により改修・修繕・補修工事などが増え、クリアパイラーの活躍が注目されています。

#### ■自社のPR

建設基礎工事の専門会社であるタケハラ工業は特殊な機械と専門的な施工技術を持つ施工技術集団です。

広島屈指の機械保有率に自社保有することで従業員が経験と自信をつけることができるのであらゆる現場に対応できます。現在では広島を中心に活躍の場を全国に広げており、最近では生え抜きの若手もどんどん活躍しており未来も明るく楽しみです。

(執筆者：竹原 弾)



竹原 弾 専務



広島城三の丸をバックに



## Member introduction

## 会員紹介

### 株式会社マルカ

(大阪府大阪市)

#### ■キャッチフレーズ

「その手があったか」を次々と、を目指す。  
(感動提案で今を拓き、変化の先まで伴走する)

#### ■創業または設立年月、代表者

昭和 21 年 12 月設立、建設機械本部長 福屋 謙二

#### ■最近のトピック

弊社は昨年の令和 3 年 10 月に、フルサト工業株式会社と合同持ち株会社「フルサト・マルカホールディング」を設立し、「機械工具」「建設資材」「建設機械」「セキュリティー」と 4 つの事業領域を柱として事業を展開しております。

#### ■自社の PR

弊社は ①基礎機械を始め各種建設機械の販売 ②中古機械の買取・販売 ③クローラークレーン等のレンタル、及び子会社のジャパンレンタルではラフテレークレーン、高所作業車のオペレーター付きレンタル ④パイラー専用保険を始め各種建設機械に特化した保険を販売しております。

ご質問、ご要望が御座いましたら、何なりとお気軽にご用命下さい。

(執筆者：福屋 謙二)



福屋 謙二 建設機械本部長



本社ビル

### 株式会社角藤が片掛橋下部その4工事にて『国土交通省北陸地方整備局優良工事局長表彰』を受賞

同社は、令和 2 年 4 月 10 日に発生した法面崩落災害の対策工事において、ジャイロプレス工法による鋼管抑止杭を施工しました。

近接する国道 41 号の通行を阻害する事なく、再崩落も想定される不安定な急傾斜法面での施工を無事故・無災害、工期厳守で精度良く完了した事を評価頂き、『国土交通省北陸地方整備局優良工事局長表彰』にて下請負者、専任技術者、有能技能者の 3 部門を受賞されました。

<https://atsunyu.gr.jp/general/img/gallery/galleryPC2022p014.jpg>



※表彰等を受賞された会員様は、圧入ジャーナルに掲載させていただきますのでご連絡下さい。

## 新会員紹介

2022年8月26日～12月15日入会、会員種別・入会順

#### 正会員

株式会社松本工業

長崎県長崎市

#### 協賛会員

株式会社トータルマシン

大阪府大阪市

【会員数の現況】 2022年12月15日現在

正会員 214 社、協賛会員 52 社、賛助会員 4 社 5 団体、特別会員 10 名

# 業界ニュース

2022年9月～2022年12月

記事提供：日刊建設通信新聞社

## 建設分野の特定技能試験、JACが実施主体に

建設分野における特定技能試験の作成・実施主体が、専門工事業団体から建設技能人材機構(JAC)に変わることになった。2022年度は専門工事業団体による試験とJACによる試験の両方を実施し、23年度からJACに一本化する。19区分に細分化されていた業務区分を土木、建築、ライフライン・設備の3区分に再編し、一人の特定技能外国人が従事可能な業務範囲を拡大したことに伴う措置。これにより、例えば土木区分の試験に合格して特定技能1号の在留資格を得た外国人は、舗装工事業、しゅんせつ工事業、とび・土工工事業など12種類の建設業許可に対応した作業を実施できるようになる。今後は、業務区分ごとにJACが試験を行う。

## 国交省が23年度に現場のICT活用状況調査

国土交通省は、建設産業の働き方改革実現に向け、継続1施策、拡充4施策の計5施策に2023年度予算概算要求として総額2億5600万円を計上した。国交省の有識者会議が5月にまとめた方向性に沿って監理技術者らの兼任制度を創設するため、遠隔地の状況確認などが可能なICT技術の活用状況を調査するほか、先進事例の収集、生産性向上の制度的な課題や対応策の検討を行う。

## 自治体補助でも事業加速円滑化国債活用

国土交通省と総務省は、直轄事業で2021年度補正予算から設定している事業加速円滑化国債について、地方自治体が事業主体の補助事業でも設定可能との見解を初めて示した。複数年度にわたる事業の契約・完成の前倒し、計画的な事業の執行、事故繰越の縮減などが活用の効果に見込まれ、それが適正な工期の設定や施工時期の平準化などにつながるとして、積極的な活用を呼び掛けている。22年度補正予算編成の動きを踏まえた対応とみられる。総務省と国交省から都道府県や政令市に通知した「事業加速円滑化国債の活用を踏まえた債務負担行為の

活用による円滑な施工確保について」と題する技術的助言で、見解を示した。

## 国交省が業務のオンライン電子納品試行

国土交通省は、直轄土木の業務で、インターネットを介して受注者が発注者に成果品を納めるオンライン電子納品の試行を2022年度内に行う。対象業務の件数は28件。試行後にはフォローアップを実施し、受発注者双方へのアンケートの結果、大きく改善する必要がなければ、8月に先行して試行した情報共有システム(ASP)の活用と併せて23年度に原則化する考えだ。

## 建退共が電子申請へサービス充実

勤労者退職金共済機構建設業退職金共済事業本部は2022年度の建退共制度加入促進等連絡会議を開いた。利用者の利便性を高めるサービス向上などを通して、電子申請方式の普及にも注力していく。会議では、電子申請方式について、8月末現在で利用契約者が1万0671人となり、契約者ベースで約6%を占めるまで徐々に増えたとの報告があった。掛金充当ベースの利用率は2%となっている。建退共では10月3日から、電子申請専用サイトのポータル機能を拡充。手帳更新時期などを知らせる通知機能や、コールセンターを経由せずに直接やり取りができる問い合わせフォームを設けた。

## CCUSの利便性向上へシステム、アプリを改修

国土交通省は、建設キャリアアップシステム(CCUS)の利便性向上などに向け、システムと就業履歴登録アプリを改修する。アプリ改修では、対応可能なカードリーダーの範囲を拡大し、安価な機器でも就業履歴を蓄積可能にする。加えて、建設業振興基金が無償提供する就業履歴登録アプリ「建レコ」を改修する。現在のアプリに対応したカードリーダーの販売価格は1万～3万円程度と高額だが、アプリ改修によって3,000円程度の安価な機器を現場が設置できるようにする。カードリーダーの設置コスト低下が狙い。



# 株式会社藤井組 湯浅御坊道路 日高川工事

地域への影響を少なく  
使う場所も作業する時間も小さくする施工

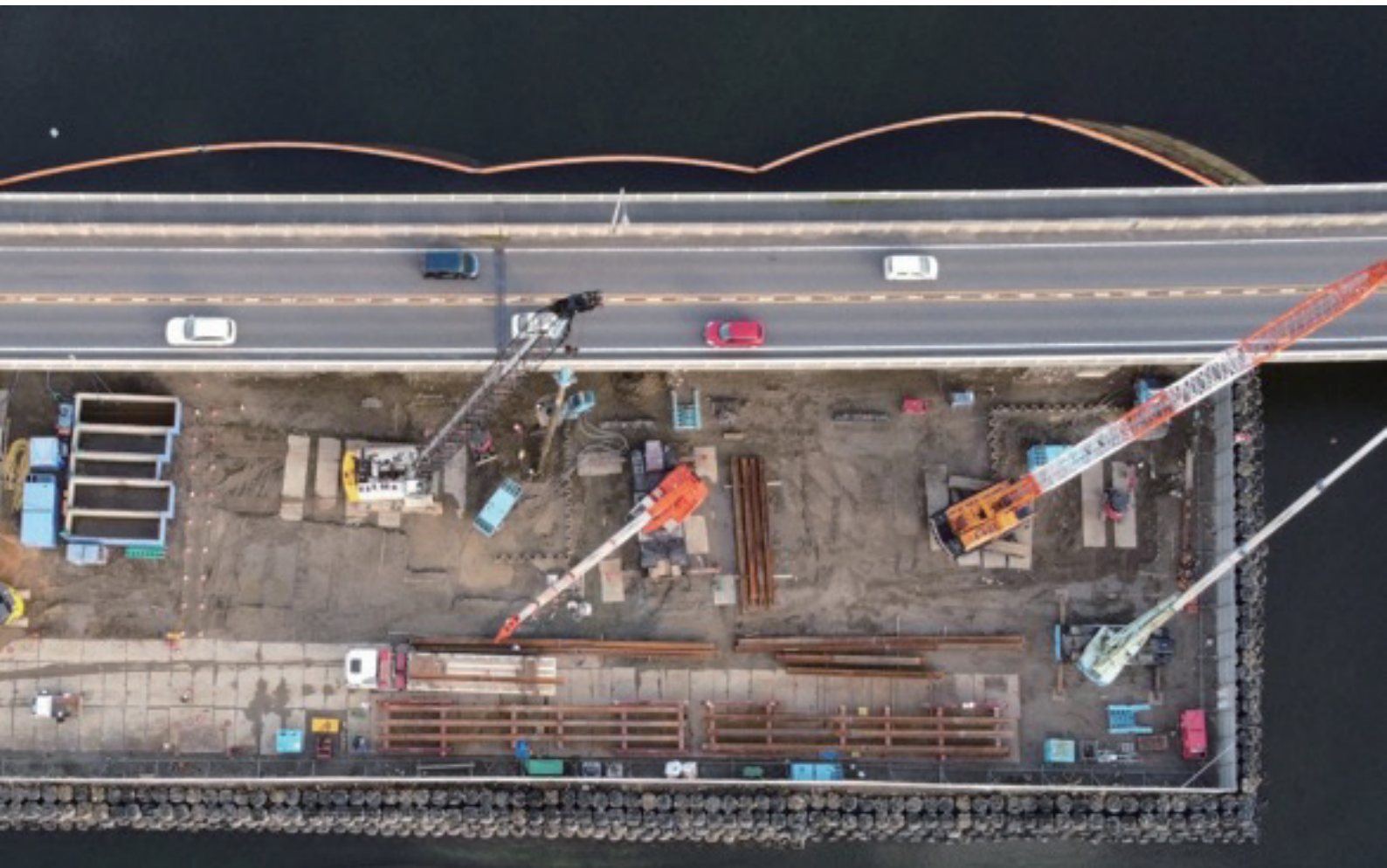
写真提供：清水建設株式会社 湯浅御坊道路日高川工事作業所

本工事は、高速道路の4車線化工事に伴う擁壁基礎部の鋼管杭圧入工事です。

供用中の高速道路と、それに並行する一般道路部の機能を維持しつつ施工する必要があり、一般道路部の一車線部分を規制して作業ヤードとする狭小地工事です。そのため、相番クレーンはテレスコピッククローラクレーンを使用し、施工順序、機材配置を工夫した狭小地での2班体制を行いました。また、スキップロック工法により工程短縮を行い、地域への交通影響をできる限り抑えました。



# 株式会社出雲技研 令和2年度米子道路福市地区改良他工事



## クリアランスゼロへの挑戦

米子道路の付加車線工事です。

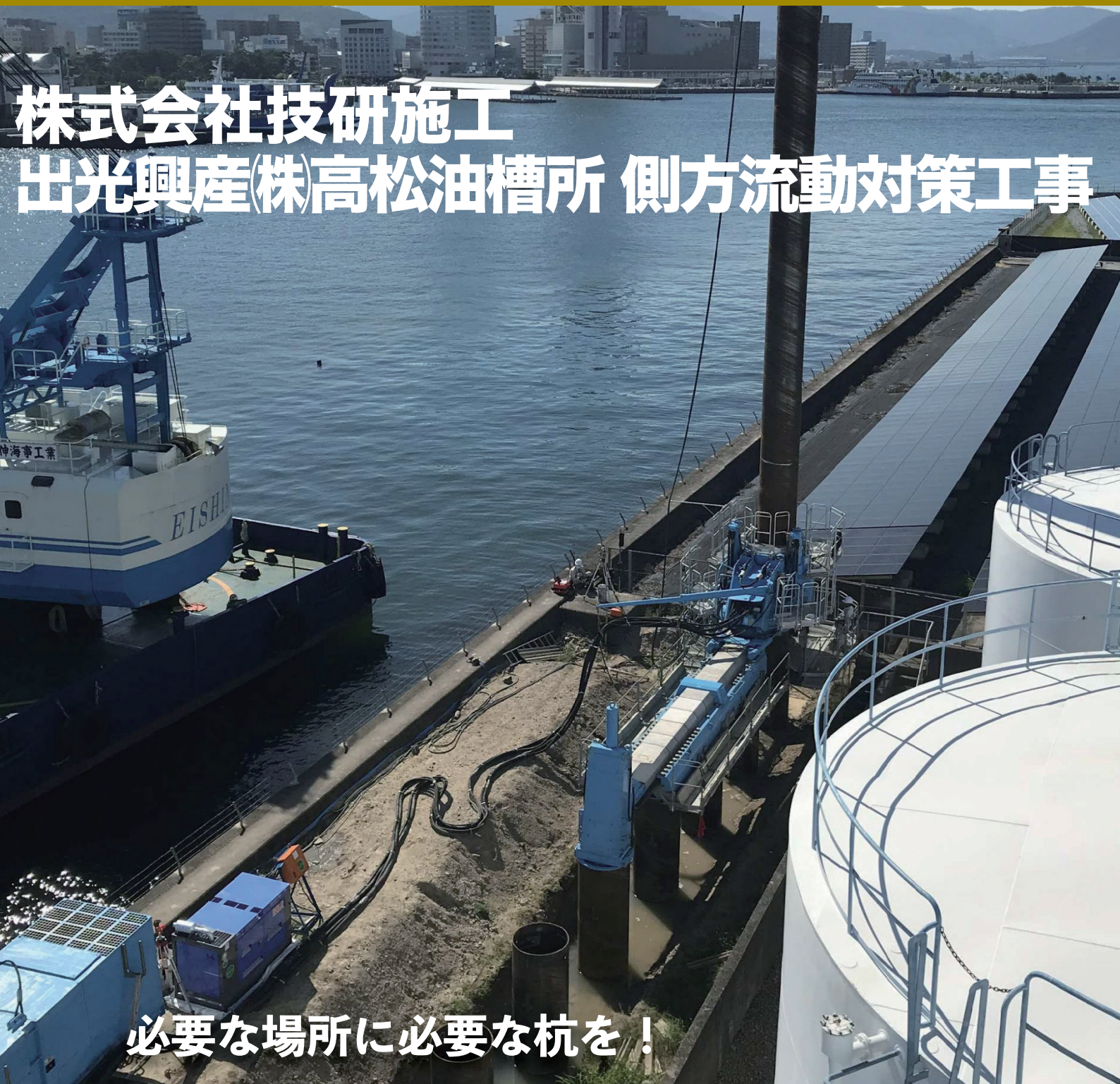
現場が河川の中央にあり、100～600Φの転石層への圧入でⅣ型・L21.0mの仮締切工事であった。新設橋脚フーチングとのクリアランスがゼロの施工で法線、鉛直管理が課題となりました。

パイルオーガに自社開発の曲がり調整シムを使用し鉛直管理を容易にしました。

自動運転（PPTS）で地盤情報を確認しながら圧入、引き抜きを細かく設定し圧入しました。先行削孔時には、ジョイントピン等の抜け落ち防止のため30分で圧入量10cm未満の場合オーガを引き抜き、ピンの確認、ヘッドの摩耗状況を確認しました。また、使用中道路際の施工であった為、ジャバラ使用の徹底とハイウォッシャーの使用で泥の落下防止に努めました。メンバー全員一丸となり安全に完成させた現場です。



# 株式会社技研施工 出光興産(株)高松油槽所 側方流動対策工事



## 必要な場所に必要な杭を！

石油インフラ強靱化事業側方流動評価および補強検討において、液状化する地盤上に構築された構造物の地震による被害を解析した結果、「要対策」の判定が出たため、防油堤と護岸の間に鋼管杭 (SKK490)  $\phi$  1000mm t=18mm L=24.0m を施工し側方流動対策を行うことになりました。

石油タンクに隣接する場所で捨石マウンドに鋼管杭を施工、杭間が 3000mm の飛び杭であることから「サイレントパイラー (F401) スキップロック仕様」で提案し採用された工事です。

工事に際しては、作業効率を上げるために軽量打下装置を使用しました。この装置は予め鋼管杭にセットしたものをチャックに投入するため作業が中断しない特徴があります。品質管理にあたってはインプラントナビによる杭の管理を行いました。



# 株式会社佐藤重機建設

## 高速1号羽田線（東品川栈橋・鮫洲埋立部）更新工事



### 永遠に支える基礎であれ

本工事は「首都高リニューアルプロジェクト」の第1号案件として、供用から50年以上経過した京浜運河上にある高速道路の一部を更新する工事のⅡ期工事でした。

並走するモノレールとⅠ期更新線に挟まれた旧高速道路床板と栈橋を組合せた施工ヤードで様々な制限がある中、26橋脚の鋼管矢板井筒基礎を施工しました。

橋脚施工順序等も、元請けや後工程業者と綿密に計画し、最大で新機種鋼管クリアパイラー3台、鋼管パイラー3台 計6台の同時施工することで工程遵守にも繋がりました。

ウォータージェットの出水量の数値化や圧入データ、サイクルタイム等の記録により品質保証にも努めました。



# 株式会社佐藤重機建設

## ため池等整備事業（用排水）八ノ江地区 護岸工事



### 生活を守る、安全施工でよりよい街づくり

当工事は、筑後川水系上津荒木川八ノ江堰の改修工事に係る護岸工事です。

住宅街を流れるこの川でφ 600mm、L=14mの鋼管杭 56本をジャイロプレス工法により施工しました。

杭間ピッチが650mmと狭く、高精度な施工が求められました。また、従来の反力架台では初期圧入後に自走不能になる課題がありましたが、クランプ挿入部を4箇所備えた反力架台を事前に製作し、課題を克服・工期短縮につなげました。

住宅とのわずかな離隔、通学路に隣接していることから、安全に施工を進めることを最優先に、騒音、振動等周辺環境に十分に配慮した施工を行い工事を完了しました。



編集・発行 / (一社) 全国圧入協会 事務局  
TEL 03-5781-9155 E-mail [jpa@atsunyu.or.jp](mailto:jpa@atsunyu.or.jp)